

傷 Art に Nepenthe を

前作『Serendipity』から5年、2冊目となる今作は書き溜めてきた詩作品と自分が表現者として原点に帰れる場所——京都とイギリスを繋ぐような本にしたいと思い、制作を始めました。

『Serendipity』は英語で、しかも図形詩というとても風変わりな詩集だったので、今回は日本語の詩をメインに英詩も少し取り入れた、二つの言語が交錯する一冊に仕上がりました。

英詩についてはイメージの中でヨーロッパの風を感じつつ、英語自体の音やアルファベット
の形、印象からなるべく本来の意味とかけ離すように、自分が感じたことを一番に意識して書
く事が多いです。説明が難しいですが、“英語の声を聞く”ことを大事に、同じ韻を持つ仲間
(単語)を集めて遊ばせてみたり、じっとしてられない文字をまるで子供のように動かして
みたり、時には分解したりして、英語の心の叫びみたいなものを受け止めながら作詩と向き合
っています。言葉を紡ぎ、組み合わせることで新しい付加価値や意味を生み出す作業も詩人の
仕事だと思っているので、読者の方々には一語一語「何故この単語を選んだのだろうか？」と頭
の中で考えを巡らせ推察を楽しんで頂き、それぞれの感じ取り方で意見を共有し合ったり、ま
たは胸の中に秘めたりするのも、詩を味わうひとつの醍醐味で面白いのではないかと思います。

日本語の詩については（英詩もそうですが）、自分の経験を大体そのままに書いています。
散歩や旅先で見てきた景色、大好きな音楽や歌詞に影響を受けて出来たもの、夢の話などきつ
かけは色々ありますが、その情景とともに詩人の心の内もポロっと出ているかもしれません。

そんな詩になった英語と日本語の生まれ故郷を、写真で見て頂ければ…！と思います。京都は鴨川と神社仏閣、嵐山など。イギリスはヨーク (York) と少し湖水地方 (Lake District) から。全て2012年～2022年の10年間に撮影したものです。日本とイギリスをまたぐような順番になってしまいましたが、交互に行き来しながらそれぞれの空気や建築様式の違いなどを感じてもらえれば嬉しいです。一冊の詩集という本の雰囲気を保つ為、全てモノクロ写真ではありますが、想像の中で貴方だけの色を付けて、自由に世界を広げて頂ければ幸いです。

今回のタイトル『Nepenthe』は“悲しみや苦痛を忘れさせるもの・薬”という意味があります。今年私は30歳を迎えましたが、振り返ると20代は良い事もあれば辛い事も沢山ありました。2012年19歳の時にイギリス・初海外を経験したものの、20代前半は就職活動に失敗。社会から見捨てられた感もありましたが、逆に社会から必要とされる人間になろう！と闘争心（あるいは社会に対する逆襲）に火が点き、あまり知られていない図形詩を通して英語の面白さを伝えようと本の出版を決意しました。俗にブラック企業と呼ばれる職場で働いていた時期もありましたが、お金を貯め、2018年に処女作『Serendipity』を出版。2021年からは念願だった京都にも住み始め、2022年には人生の中で10年に1度（年齢の代が変わる節目に）行く決めていたイギリスへ再訪もでき、何かと夢が叶って後悔の無い20代を終えたのですが、その中でやはり「詩」という存在は私にとってストレスを溜めない大事な捌け口となりました。

詩を書き始めたきっかけは英語を楽しんでもらう為でしたが、書いている内に自分の想いをぶつけられる聞き役になってくれていると感じるようになりました。詩は特別誰かを励ましたり助言をくれたりはしません。人の上にも下にも立ちません。ただ黙って横に寄り添い、側に居てくれるものだと私は思っています。長い人生の中、出会いもあれば別れもあり、自分の存在価値に思い悩むこともあります。私はそんな人の傷跡や一步一步前に進む足跡の「跡」は「Art」のように感じられます。削られ彫られた心は生きた証であり愛おしく、ただ寂しさに埋もれぬよう癒しや慰めの手を差し伸べてあげられたら…。曇天から降り注ぐ光芒のように。気持ちいいbalmyな春風を浴びて Thou art fair = You are beautiful. と言ってあげたい。そんな想いを詩に書き、一瞬でも心落ち着く安らぎを——傷Artに Nepenthe を与えることが出来れば良いなと願っております。

here

この一冊が、貴方にとって素敵な居場所になりますように。

2023 Spring

Yes, I printed “Nepenthe.”

f3hito

著者紹介

f3hito (fumihito)

京都在住の詩人。1993年奈良県生まれ。同志社大学文学部英文学科卒。

2012年19歳の時に初海外イギリス・ヨークへ1ヶ月留学。

2018年 英語の図形詩集「Serendipity」出版

2021年から憧れの京都人になり、2022年20代最後の年に10年振りに英国を再訪。

趣味は散歩とサウンドトラック鑑賞。作曲家・梶浦由記さんの大ファン。

～影響を受けたアニメ・ドラマ～

『D・N・ANGEL』（2003）…ヨーロッパの街並に憧れを持ちました。

『魔法少女リリカルなのは』（2004）…英語が話せるようになりたいと思ったアニメです。

『花子とアン』（2014）…英語が好きだと思いついて出させてくれる朝ドラです。

その他ヨーロッパを感じるオススメのアニメ↓

『魔女の宅急便』『ヴァイオレット・エヴァーガーデン』



HP : <https://f3hito.wixsite.com/f3hito>

Twitter / Instagram : @poem_f3hito

<CarpenterSuspender とは?>

Carpenter(作り手)を Suspender(繋ぐ)という意味を込めた共同制作時のペンネーム。

これまでの作品：一枚の本 “fiction for faction ~fairytale~ Ligature ver.” (2022)

犬と街灯 「貝楼諸島へ」(2022) 灯台をモチーフにした図形詩 “archipelago” を寄稿



CarpenterSuspender



since 2018

本の制作に携わって頂いた全ての方々、いつも応援して下さいの皆様、

そして手に取ってくれた読者である“貴方”に感謝申し上げます。